

**令和2年3月
新型コロナウイルス感染症に係る専決処分の概要
《3月専決》**

令和2年3月
総務部財政課

1.令和元年度3月専決補正予算及び令和2年度専決補正予算

編成方針

◎ 新型コロナウイルス感染症によって生じている諸課題に対し、国の緊急対応策（第2弾）に即応するとともに、県独自の対応を図ることとし、緊急に措置を必要とする経費について、専決処分を行ったもの

予算規模

◆一般会計	令和元年度 補正予算額	4億9,159万円	【累計 6,658億8,762万円】
	令和2年度 補正予算額	92億4,884万円	【累計 6,522億9,885万円】
	合計	97億4,043万円	
◆企業会計	令和2年度 補正予算額	2,104万円	【累計 724億2,652万円】

今回の専決補正予算総額 97億6,147万円

1.感染拡大の防止と医療提供体制の整備	7億3,300万円	◎は新規施策分
（1）福祉施設等での感染拡大防止対策	4億 748万円	
◎ ① 高齢者福祉施設等のマスクの調達や消毒経費への支援	2,330万円【R元】	
	3億6,630万円【R2】	
② 保健所への医療用マスクなど感染防止機材の追加整備	1,788万円【R2】	
（2）医療提供体制の整備と相談体制の充実	3億2,552万円	
◎ ① 医療機関等の設備整備や病床確保への支援などによる受入体制の強化	2億4,472万円【R2】	
◎ ② 県立病院への人工呼吸器等の追加整備 «病院事業会計»	2,104万円【R2】	
③ 感染症指定医療機関の運営経費への支援	4,472万円【R2】	
④ 感染症患者の入院医療費への公費負担	1,504万円【R2】	

2.学校の臨時休業に伴う課題への対応	4億6,015万円
◎ ① 放課後等デイサービスの利用に伴う新たな負担への支援	6,463万円【R元】
◎ ② 要保護児童生徒等に対する給食費相当額の補助	3,474万円【R元】
◎ ③ 給食用食材の発注取消しによる納入事業者の損失に対する補填	3,378万円【R元】
◎ ④ 生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付	3億2,700万円【R元】

3.中小企業等に対する県独自の緊急支援	85億6,832万円
◎ ① 各種支援制度の円滑な活用に向けた県独自の支援員によるきめ細かな支援	976万円【R 2】
◎ ② 県単融資制度創設による中小企業者等への資金繰り支援 《融資枠200億円》	80億円【R 2】
◎ ③ 上記融資制度に係る保証料の支援	4億8,000万円【R 2】
◎ ④ 国の雇用調整助成金への県独自の上乗せ助成	7,042万円【R 2】
◎ ⑤ イベント中止に伴い県有施設利用料金を還付した指定管理者への補填	814万円【R元】

2.既に実施している主な緊急対策

1.感染拡大の防止と検査・医療提供体制の整備

- 松山市と連携した24時間対応コールセンターの設置
- 「帰国者・接触者外来」協力医療機関への設備整備
- 衛生環境研究所へのPCR検査機器の増設と体制拡充

2.学校の臨時休業に伴う課題への対応

- 小学校低学年を対象とした学校の空き教室での受入れ
- 放課後児童クラブの開所時間の延長
- 地元大学生による小中学生への学習支援
- スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケア

3.事業活動の縮小や雇用への対応

- イベント中止に伴う県有施設利用料金の不徴収及び還付（2/26～3/31）
- 緊急経済対策特別支援資金の要件緩和及び融資利率の引下げ（1.65% → 1.50%）
- 緊急地域雇用維持助成金の上乗せ地域拡大（南予全市町、久万高原町、砥部町 → 県下全域）

3.専決処分日

令和2年3月24日（火）

専決補正予算の歳入内訳(一般会計)

元年度3月専決

区 分	補正予算額	備 考
国 庫 支 出 金	4億1,143万円	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 など
繰 入 金	8,016万円	財政基盤強化積立金繰入金 7,666万円、 地域医療介護総合確保基金繰入金 350万円
合 計	4億9,159万円	

2年度専決

区 分	補正予算額	備 考
国 庫 支 出 金	4億 949万円	感染症予防事業費等国庫補助金 など
繰 入 金	8億3,935万円	財政基盤強化積立金繰入金 7億1,061万円、 地域医療介護総合確保基金繰入金 1億2,874万円
そ の 他	80億円	貸付金元利収入
合 計	92億4,884万円	